参考２

令和７年度の取組

山陰線WT

令和７年度の取組（一覧）

R7の方向性

○キャッシュレス決済導入に向けた検討

○但馬地域全体の持続可能な交通体系の構築と
　シームレスな移動の実現に向けた検討

○交通施策のキーマンとなる人材育成

【自動運転バス実証事業】

【１日乗車券500円観光バス「たじまわる」】

【特急はまかぜ「ちょい乗り」事業】

【トライやる・ウィーク交通費支援】

令和７年度の取組（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
「乗って守ろう！竹野駅ペイ」の実施	竹野地域内の観光施設、宿泊施設、飲食店等で使用できるクーポン券(100円/１枚)を配布	4,000千円	竹野地域公共交通利用促進委員会	●	●	
トライやる・ウィーク交通費支援	トライやる・ウィークにおいて、体験活動先の事業所へ移動する際の公共交通機関を利用した際の費用を支援	420千円	豊岡市	●		
竹野駅乗車券類等簡易委託販売業務	竹野駅での乗車券類の販売、日常清掃業務、利用者の利便性向上に資する業務	2,280千円	豊岡市 (一社)たけの観光協会	●		
市職員公共交通利用	市職員の市内移動、域内出張に公共交通機関を利用	300千円	豊岡市	●		
e通勤プロジェクト	公共交通機関を利用した通勤の推奨	―	豊岡市	●		
募集型企画旅行の実施	地元住民を対象に特急列車を利用した募集型企画旅行を月１回程度実施	―	竹野駅を愛する会		●	
養父市関宮小さな拠点づくり共創プラットフォーム事業	市が進める「関宮小さな拠点」を、地域の移動手段と路線バスとの結節点として運用することを想定し、旧関宮地域の交通体系を検討する中で、デマンド交通実証実験を実施	19,244千円 (予算総額) 4,715千円 (養父市負担分)	養父市 交通事業者等	●		
自動運転バス実証実験	自動運転バスの導入により新たな交通体系の在り方を検討	96,050千円 (当初予算) ※国補助の採択状況による	養父市 BOLDLY(株) 全但バス(株) やぶ市観光協会	●		

令和７年度の取組（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
デマンド型乗合交通の活用（播但線再掲）	市内全域で導入されたデマンド型乗合交通を活用し、２次交通の充実を図る。	128,605千円	朝来市	●	●	●
情報発信（播但線再掲）	ケーブルテレビや市広報誌、SNSなどの情報媒体を使った情報発信の実施	―	朝来市	●		●
利用促進（播但線再掲）	市民・行政・交通事業者の３者が一体となった利用促進の実施(市職員による利用促進の取組など)	―	朝来市	●	●	●
【拡】JR和田山駅周辺整備事業（播但線再掲）	JR和田山駅周辺の利便性向上を図るため、令和７年度は、南北自由通路の基本設計、駅南ロータリーの整備等を予定	91,000千円	朝来市	●		●
鉄道利用促進助成事業	香美町在住者が町内５駅を発着として２名以上で往復する場合の利用料金の半額を助成	2,000千円	香美町	●		
特急はまかぜ利用助成金事業	町民が特急はまかぜを利用(町内にある４つの駅から大阪駅までの運行区間内)した場合に利用に係る乗車券や特急券の購入費用を助成	1,050千円	新温泉町	●		
鉄道往復利用支援事業	町民が浜坂駅を発着駅として、豊岡(城崎温泉)駅または鳥取駅を往復利用する場合に片道分の乗車券及び鉄道ノベルティを配布	209千円	新温泉町	●		

令和７年度の取組（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
特急はまかぜ「ちょい乗り」事業	町民が浜坂駅発の特急はまかぜを利用する場合に片道分の特急券及び鉄道ノベルティを配布	129千円	新温泉町	●		
町民ふれあいの旅	特急はまかぜを利用した町民ふれあいの旅を実施	388千円	新温泉町			●
職員公共交通利用出張	職員の効率的出張を図るため、公用車の乗り合わせ出張をする一方、神戸等への職員一人の出張については特急はまかぜを利用して出張することにより、鉄道の利用促進を図る。	875千円	新温泉町	●		
JRローカル線駅周辺活性化モデル事業	駅周辺の賑わいを生み出す取組を行う事業者等を対象に、事業費の一部を補助(補助率1/2、上限200千円)	200千円×２	兵庫県 (市町協調)	●	●	●
車両基地見学会	地域住民(子ども)を対象に豊岡駅構内の車両基地見学会を実施		但馬地域鉄道利便性向上対策協議会	●		
JRハイキング造成モデル事業	山陰本線(竹野～居組間に限る)の駅を起終点とし、山陰本線利用者を対象にしたガイド付きハイキングツアー造成を支援し、同線の魅力向上及び利用拡大を図る。	750千円	但馬地域鉄道利便性向上対策協議会	●		
レンタサイクル利用補助事業	兵庫県但馬・鳥取県東部地域の交通・観光連携協議会等と連携して京阪神からの鉄道利用者の２次アクセスを充実 【期間】４月13日～11月30日		但馬地域鉄道利便性向上対策協議会		●	

令和７年度の取組（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】但馬地域における公共交通の利便増進に向けた人材育成事業	各ステークホルダーや既存ネットワークで顕在化している課題の共有と解決に向けた方策、「持続可能な公共交通体系」の方向性を整理し、広域連携を主導できる人財を育成する。 また、乗継の利便性向上、運賃収受方法の統一化、共通運賃制度等を念頭に置いた連携の可能性を検討する。 （「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト「モビリティ人材育成事業」(国庫10/10）を活用)	14,769千円 (国庫補助金交付決定額による)	但馬地域鉄道利便性向上対策協議会	●	●	
【新】「乗って守ろう！山陰本線『浜坂・香住・竹野駅ペイ』」の実施	新温泉町浜坂地域、香美町香住地域及び豊岡市竹野地域内の観光施設、宿泊施設、飲食店等で使用できるクーポン券(100円/１枚)を配布	1,767千円	但馬地域鉄道利便性向上対策協議会	●	●	
【新】FPデジタルスタンプラリー	但馬のFP等の周遊を促すデジタルスタンプラリーを実施し、各FPの魅力を体感してもらう。 【期間】11月～１月(予定)	1,163千円	兵庫県		●	
１日乗車券500円観光バス「たじまわる」の運行	JR各駅等と観光地を結ぶ１日乗車券500円観光バス「たじまわる」の運行を軸に、主要観光地の２次交通を確保 ガイド無料や観光施設入館無料など、立ち寄り先での特別体験を企画	15,180千円	但馬観光協議会		●	
但馬観光の将来を見据えた地域内周遊の促進	大阪・関西万博やワールドマスターズゲームズ関西を契機に発展を目指す地域コンテンツへ観光客を送客する２次交通手段の確保や、今後の運行に向けた検証・検討のため、交通事業者が実施する周遊観光に資する事業に対し、事業費の一部を支援し観光地と公共交通機関を結ぶ２次交通の充実を推進	1,000千円	兵庫県		●	

令和７年度の取組（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
WESTERへの情報集約	各自治体からご提供いただいた沿線の観光スポットやイベント情報を、JR西日本アプリ「WESTER」に集約して情報発信	―	JR西日本 各自治体		●	
観光情報誌「西Navi」を通じた地域のイベント情報の発信	JR西日本全エリアの駅に配架されている西Naviを通じて、地域のイベント情報を発信	―	JR西日本		●	
かにカニはまかぜの運行(予定)	冬季に臨時特急「かにカニはまかぜ」を運行	―	JR西日本		●	
【新】利用促進リーフレットの作成（予定）	普段鉄道をご利用されていない住民の皆さまに向けて、沿線のお出かけスポット、施設と共に山陰線(城崎温泉～浜坂)の置かれている現状を知っていただくことで利用促進に繋げるリーフレットを作成	―	JR西日本		●	
【新】ご利用実態調査(予定)	乗車・降車駅、目的、利用頻度、２次交通等についてのアンケート調査を実施	―	JR西日本		●	
沿線行事のＰＲ	沿線行事のポスター・パンフレット等を駅に掲出	―	JR西日本		●	
【新】週末開催！西日本じまん市	万博開催期間中にJR西日本と地域が連携し、大阪駅、新大阪駅を舞台に地域の魅力を発信	―	JR西日本、沿線自治体		●	

令和７年度の取組

加古川線WT

R7の方向性

○ 大阪・関西万博に向けた関係機関と連携した利用促進事業の推進

大阪・関西万博を誘客のチャンスと捉え、地元自治体と沿線関係団体、JR西日本等が一丸となった効果的な事業を実施することにより、 JR加古川線の更なる利用促進につなげる。

※実施団体

・JR加古川線（西脇市駅－谷川駅）維持・利用促進地域協議会〔黒田庄まちづくり協議会、比延地区自治協議会、久下自治振興会〕

・JR加古川線（西脇市駅～谷川駅間）利用促進協議会〔西脇市、丹波市、北播磨県民局、丹波県民局〕

○ 鉄道利用の気運醸成と利用促進への支援

学生の通学、沿線企業従業員の通勤などの日常利用促進や、地域住民が主体となった駅周辺の賑わいづくりに対する支援を通じて、鉄道利用の気運醸成と継続した利用促進につなげる。

○ イベント等の連携・情報発信等協力体制の強化

各団体が実施するイベント等での相互連携、他の団体の取組とのコラボ、チラシの配布、記者発表等の協力体制を強化する。

令和７年度の取組（一覧）

加古川線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】貸切列車の運行	フィールドパビリオンを巡る貸切列車を運行し、北播磨地域と丹波地域への誘客を促進する。	8,000千円 （各2,000千円）	JR加古川線（西脇市駅～谷川駅間）利用促進協議会 西脇市、丹波市、北播磨県民局、丹波県民局		●	
【新】空飛ぶランタンの実施	駅周辺で、加古川線への思いや願いを書いたランタンを夜空に打ち上げるイベントを実施する。				●	
【新】車内中づり広告の掲示及び鉄道利用促進の呼びかけ	地元高校生等の協力により作成した「播州織中づり広告」をJR加古川線車内へ掲示し、JR加古川線の利用促進を呼びかける。			●	●	
【新】 啓発資材の作成	加古川線に関連したポスターやグッズなどを作成し、利用促進の啓発、PR資材として活用する。			●	●	
【新】JR加古川線利用促進PR	〈イベント来場者等への啓発〉 「西脇市茜が丘複合施設Miraie（みらいえ）」のイベントに来場された方約200名にチラシを配布し、JR加古川線の利用を呼びかけた。 ・イベント名　「あそびマルシェ」 ・実施時期　５月３日（土・祝） ・場　　所　西脇市茜が丘複合施設Miraie	－		●	●	
	〈新聞折込での啓発〉 「加古川線増発時刻表」と「市民向け利用補助案内」を掲載したPRチラシを、西脇市、丹波市に新聞折り込みし、利用促進事業をPRした。 ・実施時期　５月31日（土）朝刊 ・実施世帯数　1.8万世帯	253千円				

令和７年度の取組（一覧）

加古川線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】路線を丸ごとテーマパーク化！新たな観光需要の創造による加古川線利用促進事業	恐竜、播州織にまつわるラッピング列車の運行、車両内や沿線施設などで恐竜ARを獲得できる恐竜探しイベント、加古川線等検定ページを作成するなどにより、誘客促進を図る。	6,000千円	JR加古川線（西脇市駅～谷川駅間）利用促進協議会		●	
「JR加古川線リレーマルシェ」の開催	〈リレーマルシェ×山田錦日和〉 北播磨地域が誇る酒米の王者「山田錦」を使った日本酒の飲み比べや、関連商品の販売イベントを山田錦日和実行委員会等と共同開催する。 ・実施時期　７月26日（土）16時30分～20時 ・場　　所　日本へそ公園駅前	1,200千円	比延地区自治協議会 山田錦日和実行委員会 北播磨県民局	●	●	
	〈へそマルシェ〉 JR加古川線などをテーマにした謎解き企画やワークショップ、お酒やグルメなどのマルシェを開催する。 ・実施時期　8月９日（土）16時30分～20時 ・場　　所　日本へそ公園駅前	2,000千円	JR加古川線・神戸電鉄粟生線・北条鉄道利用促進協議会	●	●	
	〈久下村夜市〉 久下村駅等の駅前広場等において、キッチンカーや屋台の出店によるマルシェを開催する。 ・実施時期　８月22日（金）16時30分～20時 ・場　　所　久下村駅周辺	1,479千円	久下自治振興会・丹波県民局	●	●	
わが町考え隊事業の推進	わが町考え隊（hesocityclub）を中心に、SNSによる情報発信、ワークショップ等住民参加型イベントの開催等、地域活性化策を展開する。	700千円	北播磨県民局 hesocityclub(hcc)	●	●	

令和７年度の取組（一覧）

加古川線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】「北播磨かんきょうフェスタ」の開催	ＪＲ加古川線を利用してもらい子どもたちに楽しく環境に親しんでもらうイベントを開催した。 ・実施時期　６月８日（日） ・場　　所　日本へそ公園及び日本へそ公園駅前 ・実施結果　来場者約900名 （うち鉄道利用者約180名）	1,000千円	北播磨県民局 西脇市		●	
【新】環境学習ツアーの実施	久下村駅等を発着とし、丹波地域の生物多様性や森林環境を学ぶことにより、加古川線の更なる利用促進に繋げる。 ・実施時期　8月9日（土） ・実施場所　丹波の森公苑	1,504千円	丹波県民局		●	
JRローカル線駅周辺活性化モデル事業（県・市町協調事業）	駅周辺の活性化により鉄道の利用促進を図る団体等の活動費の一部を助成する。	800千円	兵庫県、西脇市、丹波市		●	●
通学定期券購入補助事業	通学定期券を購入する市内在住の学生に対し購入費を助成する。	2,982千円	西脇市、丹波市	●		
【新】通勤定期券購入補助事業	通勤定期券を購入する市内在住・在勤の者に対し購入費を助成する。	1,425千円	西脇市、丹波市	●		
定期券購入者への自転車貸出事業	通勤・通学定期券購入者へ自転車を無償で貸し出し、駅からの二次交通の確保につなげる。	296千円	西脇市	●		
社会学習利用乗車券購入補助事業	小中高校やこども園などがJR加古川線を利用して行う社会学習活動に対し運賃の一部を助成する。	550千円	西脇市、丹波市	●	●	
団体利用乗車券購入補助事業	JR加古川線を団体利用する場合の運賃の一部を助成する。	700千円	西脇市、丹波市	●	●	

令和７年度の取組（一覧）

加古川線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】西脇市制20周年記念事業 JR加古川線イベント列車の運行	市制20周年を契機に地域の公共交通の重要性とＪＲ加古川線沿線の地域の魅力を再認識することを目的に、貸切イベント列車を運行する。	500千円	西脇市		●	
【新】「ぶらり加古川線tabiwa １Dayパス」の提示で入館無料 JR加古川線の１日乗り放題切符「ぶらり加古川線tabiwa１Dayパス」の購入者を対象	日本へそ公園駅付近にある「岡之山美術館」と「にしわき緯度経度地球館」の入館料を無料にする。 ・実施期間：４月13日（日）～10月13日（月・祝）	–	西脇市		●	
	リニューアルオープンする「たんば恐竜博物館」（ちーたんの館）の入館料の無料及びミュージアムショップでのノベルティ配布を実施する。 ・実施期間：7月12日（土）～10月13日（月・祝）	–	丹波市		●	
JR加古川線地域活動活性化事業	地域住民団体が地域団体活性化にかかる事業を実施する。	1,000千円	JR加古川線（西脇市駅－谷川駅）維持・利用促進地域協議会	●	●	
JR西日本アプリ「WESTER」を活用した沿線情報の集約・発信	沿線でのイベント情報等を、JR西日本アプリ「WESTER」のおでかけ情報に掲載し、誘客を促進する。	–	JR西日本、沿線自治体		●	
観光情報誌「西Navi」を通じた地域のイベント情報の発信	JR西日本全エリアの駅に配架されている西Naviを通じて、地域のイベント情報を発信する。	–	JR西日本		●	
加古川線プロモーション動画放映、ポスター掲出	加古川線沿線のお出かけスポットを紹介する広告を近畿地方の駅や車内で実施する。今回は関西空港駅のビジョンで放映。	–	JR西日本		●	

令和７年度の取組（一覧）

加古川線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
沿線行事のＰＲ	沿線行事のポスター・パンフレット等を駅に掲出する。	—	JR西日本		●	
【新】「WESTER」デジタルスタンプラリーの実施	JR西日本アプリ「WESTER」を活用した、駅や対象スポットを巡るスタンプラリーを通じて誘客を促進する。 ・実施期間：4月13日（日）～6月13日（金）	–	JR西日本		●	
【新】利用実態調査	乗車・降車駅、利用者属性について乗り込み調査を実施する。	–	JR西日本	●	●	
【新】加古川線の増発及び特急列車を谷川駅に臨時停車する実証実験	昼間時間帯の列車を増発することで、加古川線（西脇市～谷川駅）の利用が増加するかどうか検証する。併せて、特急こうのとりの谷川駅への臨時停車を実施する。 ・実施期間：４月13日（日）～10月13日（月・祝）	—	JR西日本	●	●	
【新】おとな旅あるき旅放送	テレビ大阪の番組で、俳優の三田村邦彦さんがゲストを連れて、加古川線の「オススメぶらり旅」を紹介する。 ・放送日：4月26日（土）	—	JR西日本		●	
【新】「ぶらり加古川線tabiwa １Dayパス」の発売	加古川線を1日乗り放題できるデジタルパスを発売する。 ・実施期間：４月13日（日）～10月13日（月・祝）	—	JR西日本		●	
【新】週末開催！西日本じまん市	万博開催期間中にJR西日本と地域が連携し、大阪駅、新大阪駅を舞台に地域の魅力を発信する。	—	JR西日本、沿線自治体		●	

令和７年度の取組（一覧）

加古川線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
参考：JR加古川線・神戸電鉄粟生線・北条鉄道利用促進協議会事業						
列車内鉄道絵画展	県内の園児・児童を対象に列車や駅をテーマにした絵画を募集し列車内絵画展を開催する。	－	交通事業者、商工会議所、市町、県		●	
鉄道沿線ガイドの作成	鉄道沿線で開催されるイベント等の魅力情報を掲載したガイドを発行する。	－	交通事業者、商工会議所、市町、県		●	
参考：丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会事業						
【新】二次交通の定期運行による恐竜スポット周遊促進事業	大阪・関西万博に合わせて、久下村駅と谷川駅から「たんば恐竜博物館」を結ぶ「グリーンスローモビリティ」の定期運行と電動自動車「トゥクトゥク」の貸出しにより、恐竜化石発見地等の恐竜スポットを周遊する。	－	自治体、商工会、観光協会、民間団体等		●	

令和７年度の取組

姫新線WT

R7の方向性

①日常利用の促進：利用補助による利便性向上と利用者のマイレール意識の醸成

②観光需要の促進：ひょうごフィールドパビリオン等の観光コンテンツの発掘や改良による利用促進

③まちづくりと一体となった魅力創出：社会活動家等と連携した沿線地域活性化の取組

中吊り広告イメージ：
R5ふるさと風景絵画コンクール受賞作品

屏風岩・鶴嘴山里公園ハイキング

姫新線車内路線図

令和７年度の取組（一覧）

姫新線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
たつの市姫新線駅周辺駐車場等使用料助成事業	定期乗車券により姫新線を利用する方の駐車場、駐輪場の月極使用料の全部又は一部を助成し、姫新線利用者の増加及びマイレール意識の醸成を図る	3,056千円	たつの市	●		
千本駅トイレ整備事業	千本駅のトイレを改修する	20,000千円	たつの市			●
姫新線を利用した遠足等のお菓子助成事業	姫新線を利用して遠足等を実施する市内のこども園にお菓子購入代金（1人につき200円程度）を支給	－	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）	●		
たつの市民まつりにおけるPRブースの出店	たつの市民まつりにおいて、姫新線クイズや、利用啓発パネルを掲示し、来場者に姫新線をPR	－	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）	●		
屏風岩・鶴嘴山里公園ハイキング	JR姫新線東觜崎駅を出発し、因幡街道の宿場町の歴史に触れながら、寝釈迦の渡し・磨崖仏等のスポットを巡る冬の里山ハイキングを実施	－	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）		●	
【新】龍野納涼花火大会メッセージ花火	龍野納涼花火大会にて、利用促進のメッセージを打ち上げとともに放送	－	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）	●		
【新】姫新線に乗って工場見学	新宮地域の駅周辺にある企業で工場見学を実施	－	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）		●	
【新】皮革まつり協賛イベント	姫新線で来場された方に地元特産品と交換できる引換券又はノベルティを配布し姫新線利用促進と併せて、皮革まつりへの誘客を図る	－	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）		●	

令和７年度の取組（一覧）

姫新線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
オータムフェスティバル協賛事業	姫新線で来場された方に地元特産品と交換できる引換券を配布し、姫新線利用促進と併せて、オータムフェスティバルへの誘客を図る	―	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）		●	
【新】ノベルティの作成	姫新線をモチーフにしたノベルティを作成し、市内のイベント等へ姫新線で来場された方に配布し、利用促進を図る	―	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）	●		
しんぐうふるさとフェスタ協賛イベント	姫新線を利用して来場された方に播磨新宮駅にてノベルティを配布し、利用促進と併せてしんぐうふるさとフェスタへの誘客を図る	―	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）		●	
佐用町大学生等通学定期券購入助成事業	町内在住の大学生等の通学定期券購入費用を助成し、地域公共交通の利用促進と若者世代の本町への定住促進を図る	6,000千円	佐用町	●		
鉄道利用促進のための乗車券支給事業	町内の駅から鉄道を利用する団体(2名以上)に、片道分の乗車券を支給	800千円	佐用町	●		
【新】駅周辺イルミネーション事業	佐用町合併20周年事業として実施。駅前にイルミネーションを設置する地域団体に対し装飾LED電球の購入補助	300千円（一部姫新線利用促進･活性化同盟会予算充当）	佐用町、姫新線利用促進・活性化同盟会		●	●
【新】鉄道利用促進特典費用助成事業	佐用町合併20周年事業として実施。地域団体等が実施するイベントで姫新線利用促進のために利用者に特典を付与する際の経費補助	300千円（一部姫新線利用促進･活性化同盟会予算充当）	佐用町、姫新線利用促進・活性化同盟会		●	●

令和７年度の取組（一覧）

姫新線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
栗ひろいと佐用町を巡るツアー	沿線の観光施設を巡るツアーとして、秋期に栗ひろいや周辺の観光施設など、秋を満喫するツアーを実施	―	佐用町、姫新線利用促進・活性化同盟会（佐用町）		●	
【新】啓発パネル作成と佐用高校生による利用促進活動への補助	姫新線利用促進イベント等で掲示する利用促進啓発パネルを作成する。また佐用高校生が取り組む利用促進活動の補助	―	佐用町、姫新線利用促進・活性化同盟会（佐用町）	●		●
会員事業所への姫新線利用呼びかけ	商工会HP、Facebook等のSNS及び会員へのＤＭ発送により姫新線利用の呼びかけを実施	―	佐用町商工会	●		
JR姫新線の利用促進策について検討・実施	令和６年度に実施した高校生向けアンケートや、駅でのイベントの結果を踏まえ、効果的な事業を検討・実施	2,000千円	岡山県JR在来線利用促進検討協議会（姫新線WT）	●		
駅施設へのポスター・チラシ掲出	鉄道利用促進に繋がるイベント等、ポスターやチラシの配架依頼があれば可能な範囲で協力	―	JR西日本及び各自治体	●		
南光ひまわり祭りでのおもてなし（予定）	姫路駅で一日駅長によるお見送り 名誉駅長（播磨徳久駅）と佐用町商工会合同のお迎えや案内の実施	―	JR西日本及び佐用町等		●	
JR西ｱﾌﾟﾘ「WESTER」を活用した沿線情報の集約・発信	各自治体からご提供いただいた沿線の観光スポットやイベント情報を、JR西ｱﾌﾟﾘ「WESTER」に集約して積極的に情報を発信	―	JR西日本及び各自治体		●	

令和７年度の取組（一覧）

姫新線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
姫新線車内路線図	龍野北高校総合デザイン科生徒による沿線の特産品などをデザインした車内路線図の作成（2025年度：17回目）	―	JR西日本及び兵庫県立龍野北高校		●	
イベント列車の運行	姫新線と沿線地域の地域資源を結ぶユニークな沿線イベントを実施（年度内 2回予定）	246千円	西播磨県民局		●	
姫新線で行くフィールドパビリオン体験ツアー	姫新線を利用した沿線地域のフィールドパビリオン体験ツアーを実施。姫新線のPR及び利用促進と万博開催に向けた機運醸成を図る				●	
【新】沿線学生による「マイレール週間」の取り組み	姫新線関係の中吊り広告や沿線中学生等による観光情報の車内放送などの取組を実施	385千円	西播磨県民局	●		
【新】岡山県との連携事業	JR姫新線は、兵庫・岡山両県を結ぶ広域的な鉄道ネットワークを形成する路線であるため、岡山県美作県民局と連携し、イベントの相互出展等を検討	100千円	西播磨県民局	●	●	
県民局職員による「月イチ！姫新線乗車大作戦」の推進	県民局職員に対し、月１回以上の姫新線乗車を呼びかけ	―	西播磨県民局	●		
姫新線グッズ作成	各イベントで配布できるようなノベルティを作成（絆創膏、ﾎﾞｰﾙﾍﾟﾝ、ﾎﾟｹｯﾄﾃｨｯｼｭ等）	―	姫新線利用促進・活性化同盟会（西播磨県民局）		●	

令和７年度の取組（一覧）

姫新線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
JRローカル線駅周辺活性化モデル事業（県・市町協調事業）	駅周辺活性化の取り組みを行う事業者、地域団体等に対する事業費の補助 ○ 補助対象　駅舎や駅周辺の遊休不動産等を活用した賑わい創出に資する取組等 ○ 補助上限額 200千円 ○ 補助率　定額 ○ 負担割合　県：市町＝１：１	200千円 200千円 200千円	たつの市 佐用町 西播磨県民局	●	●	
JR姫新線映像コンテスト受賞作品デジタルサイネージ	「JR姫新線映像コンテスト」の受賞作品をデジタルサイネージとして活用	100千円	西播磨県民局	●	●	
サイクルトレインの実施検討	自転車を折りたたまずに列車の車両に乗せるサイクルトレインの実施に向けた実証実験等について検討	―	姫新線利用促進・活性化同盟会 （西播磨県民局）	●	●	
姫新線ファンクラブ	SNS「X」の公式アカウントのフォロワーをファンクラブの会員と定め、姫新線に関する情報を発信し、愛着を持ってもらえるようする	―	姫新線利用促進・活性化同盟会	●	●	

広域的な取組（令和７年度）

ひょうごフィールドパビリオンの展開

広域的な取組

➢　2025年大阪・関西万博に合わせて、**地域のSDGsを体現する活動の現場**そのもの(フィールド)をパビリオンに見立て、地域の人々が主体となって発信することで、**国内外の多くの人を誘い、見て、学び、体験していただく「ひょうごフィールドパビリオン」**を展開

認定数

認定プログラム数：268件

ひょうごフィールドパビリオン

(うちプレミア・プログラム※：9件)
※認定プログラムのうち、特に地域の核となる取組

➢万博の期間中にJRローカル線利用の拡大に向けた取り組みを推進

沿線へのアプローチ

加古川線の取組み

知名度向上・地域の活性化

JR西日本
・加古川線の2往復増発
・1日乗り放題パスの発売

HYOGO Field Pavilion ひょうごフィールドパビリオン

県・市
・貸切列車による特別体験
・着地型学習列車の企画

利用者増

山陰線の取組み

ひょうご EXPO DREAM BUILDERS（子どもの夢プロジェクト）

子どもたちが主体的に関わり共創するプロジェクト(貸切列車による体験 7/21)

兵庫県
浜坂駅～城崎温泉駅　２往復
１４組３７名の親子が参加

地域の活性化
知名度向上

子どもたちが主体となる機会の提供

プロモーションの充実

○ホームページや展示等において、FPや既存の地域資源を活かした**交通手段も含めたモデルコースを策定・提示**
○モニターツアーやファムトリップ等で、各FPを繋ぐコースを廻り、SNSやメディア等で発信

各路線が連携して実施する広域的な気運醸成

➢有識者によるご提案の実践
各路線の**魅力発信**・**プロモーションの展開**による**JRローカル線利用の啓発**

兵庫県庁での情報発信

実 施 概 要：ショーウインドウでのJRローカル線啓発PRの展開。
実 施 期 間：5月15日～30日
実 施 内 容：４路線（山陰線、播但線、姫新線、加古川線）のPR動画やポスター掲示等を実施。

県内大型商業施設でのチラシ配架

実 施 概 要：県内に展開する大型商業施設(全26店舗)で実施。
実 施 期 間：8月～9月
実 施 内 容：万博期間中に増発される加古川線のPRのほか、県内のJRローカル線の利用啓発を実施